



学校と協力で防災力をアップ！ まちの魅力を発信せよ！

自由民主党目黒区議団
市沢 芳範 議員

<防災協定>
(1) 区内の私立中学・高校との防災協定締結後の避難所訓練と相互協力について、昼夜を含め区としての支援をどのように考えているかを問う。また、未締結の学校には協力を求めているのか。(2) 区内の都立高校は、第一避難場所としてどのような協力をするのか。(3) 町会・自治会の防災訓練に対し、どのように指導していくのか。

区長 (1) 現在4つの学校法人と協定を締結し、防災倉庫等を配備する予定である。災害時の連絡体制などの詳細は、学校側と協議していく。協定の未締結校へは、さらに協議していく。(2) 都立高校は、水・トイレなど「帰宅支援ステーション」の役割の場ともなっている。この役割を地域へ周知し、防災訓練を行うなど学校側と協議していく。(3) 町会・自治会が自主的に実施する小規模な防災

訓練は、地域の防災力等を高める。区は、物資の提供や職員の出勤などの支援を行っている。

<目黒の観光>
(1) 多くの名所や施設について、どのようにPRしていくのか。(2) 区内は交通手段が少なく、不便に感じる区民も多い。すでに23区中21区で運行されているコミュニティバス(地域バス)について、区として協力をバス会社へ申し入れよ。

区長 (1) 観光まちづくり協会が、「てのひらの中のメグロ」の発行やホームページなどで目黒の魅力をPRしている。今後も同協会と連携・協力して、情報を提供していく。(2) コミュニティバス導入を検討した結果、採算性に欠ける。アンケートで約7割の区民が経費負担に否定的などの理由で見送られた。状況が変われば検討していく。



企業会計を区政運営に。 メディアを読み解く教育を。

自由民主党目黒区議団
橋本 欣一 議員

<財務諸表の活用>
財政状況が厳しい折、区長は前例が無い事柄にも、未来を予想して経営判断しなければならない。目黒区の活動を克明に記録した財務諸表には、新たな経営判断ができる材料がある。今後どう活用していくか。

区長 財務諸表の活用には、分析・検証の成果を実際の行政運営に活かしていくこと、区民への財政運営の説明責任を充実させることがある。一方作成方法が複数あり、比較が難しいなどの課題もある。他団体の状況なども参考に、財務諸表の活用に取り組んでいく。

<メディア・リテラシー教育>
社会の出来事は、人々の行動により引き起こされる。マスメディアやパソコン、人々の会話などの情報は行動を促す動機となる。その情報を読み解くための教育は重要だ。(1) 区はこれまでどのように取り組んできたか。(2) 今後の展望について伺う。

教育長 (1) 区独自のICT支援員派遣などで情報を読み解く力を育てる指導をし、また情報安全教育等を実施してきた。(2) 児童・生徒がメディアを主体的に読み解く能力を育成し、発信者として情報を創出する授業も推進していく必要があると考える。

平成22年度区議会情報公開の状況(平成23年3月31日現在)
平成22年度の区議会情報の開示請求件数は、3月31日現在42件です。

内容は次のとおりです。 委員会会議録 …………… 1件 委員会視察報告書 …………… 1件

このうち全部開示11件、部分開示1件でした。 **問い合わせ 区議会事務局庶務係 ☎03-5722-9413**

最近の委員会の主な議題 (平成23年1月~3月)

企画総務委員会 1月12日(水) <ul style="list-style-type: none"> 目黒区友好交流代表団の北京市東城区訪問等の実施結果 三田アレンズ地下店舗施設及び集会室跡の活用計画 旧守屋教育会館跡地に設置した保育園仮設園舎の今後の活用等 外国人向け広報の変更 訴訟事件の報告 契約報告(4件) 東京都知事選挙及び目黒区議会議員選挙に伴う執行計画(概要) 2月9日(水) <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度組織改正 目黒区行革計画(行動計画)改定案 土地等の寄付の受入れ 訴訟事件の報告 契約報告(3件) 目黒区登録業者の指名停止措置 目黒区業務継続計画<地震編>素案 区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担の規則改正 3月3日(木) <ul style="list-style-type: none"> 議案審査 3月4日(金) <ul style="list-style-type: none"> 陳情審査 平成23年度都区財政調整 訴訟事件の報告 事故の発生 目黒区男女平等・共同参画推進計画 契約報告(5件) 3月7日(月) <ul style="list-style-type: none"> 議案審査(補正予算) 	3月4日(金) <ul style="list-style-type: none"> 陳情審査 平成22年度目黒区地域密着型サービス整備費補助事業の募集結果及び選定結果 3月8日(火) <ul style="list-style-type: none"> 【視察】目黒区立目黒本町福祉工房】 	都市環境委員会 1月12日(水) <ul style="list-style-type: none"> 工事報告「都市計画道路補助第30号線道路築造工事(その3)」 大橋一丁目公園(仮称)等整備説明会の結果 住宅政策審議会「中間のまとめ」 目黒駅周辺地区整備構想定案改定案 大橋ジャンクション関連空間の整備に係る費用負担 平成22年度古紙の集団回収一取先行事業の実施状況及び平成23年度の取り組み 2月9日(水) <ul style="list-style-type: none"> 総合治水対策に係る関係規定の整備 工事報告「道路維持工事(平町一丁目先)」 東山公園拡張部の管理運営等の考え方 中目黒駅周辺地区整備構想改定案 土曜日の補習教室の実施 「小・中連携子ども育成プラン」の概要 教員の服務事故 目黒区立スポーツ施設予約システムの改善 烏森住区センター児童館の臨時移転 目黒区立南保育園改修及び耐震補強工事実施計画(案)に関する説明会の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 目黒区立緑ヶ丘小学校屋内プールの臨時休場(学習保育クラブ保育時間延長の試行実施) 平成23年4月区内認可保育所入所申込状況 目黒区立南保育園改修及び耐震補強工事実施計画(案) 3月3日(木) <ul style="list-style-type: none"> 議案審査 平成23年度教育行政運営方針(案) 目黒区芸術文化振興財団の公益財団法人への移行 認定こども園の保育時間等に関する基本的方向(案) 目黒区立目黒中央中学校統合評価 目黒区立第七中学校特別支援学級の設置内容 3月4日(金) <ul style="list-style-type: none"> 陳情審査 平成23年度学校における健康教育の推進 インフルエンザの流行に伴う対応状況 平成22年度学校評価における4者による学校評価アンケートの実施結果 土曜日の補習教室の実施 諮問(人権擁護委員候補者の推薦)について 諮問(人権擁護委員候補者の推薦)について 予算特別委員会の正副委員長候補者について 平成22年度目黒区包括外部監査報告書について 新公益法人移行団体に係る議会への報告体制について 区議会だよりについて
生活福祉委員会 1月12日(水) <ul style="list-style-type: none"> 【視察】高齢者福祉住宅コーポ八雲】 高齢者医療制度改革会議の「最終とりまとめ」 第5回目黒健康フェスティバルの開催 2月9日(水) <ul style="list-style-type: none"> 目黒区区民斎場及び目黒区心身障害者センターの臨時休館 平成23年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会における議決結果 平成23年度国民健康保険事業の主な改正内容等 目黒区シルバー人材センター上目黒シルバー作業所施設利用の終了 高齢者センターにおける入浴事故 健康めぐり21(平成23年度~27年度)改定 成分規格に適合しない輸入食品への行政指導 3月3日(木) <ul style="list-style-type: none"> 議案審査 平成23年第一回臨海部広域斎場組合議会定例会 平成22年度国勢調査 烏森住区センター住区会議室・併設の老人いざいの家の臨時休館 区内民家ででの遺体発見 	文教・子ども委員会 1月12日(水) <ul style="list-style-type: none"> 目黒区美術館資料の収集 めぐろパーシモンホール及び八雲体育館の臨時休館 目黒区美術館の臨時閉館 平成23年成人の日つどいの実施結果 保育園給食調理業務委託事業者公募による選定結果 私立東が丘保育園等の改築計画 2月9日(水) <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度教育委員会事務局組織改正 目黒区立八ヶ岳林間学園の臨時休園 自然宿泊体験教室事業実施方針に係る各種事業の実施結果 平成23年度区立幼幼園の入園申込状況 インフルエンザの流行に伴う対応状況 「いじめ問題を考えるつどい」の実施結果 	議会運営委員会 1月21日(金) <ul style="list-style-type: none"> 副委員長の辞任及び互選について 会派の変更について 平成22年度前期(4月~9月)分政務調査費収支報告書に係る議長の調査結果について(報告) 平成23年度分政務調査費について 平成23年4月から平成24年3月までの区議会予定表(案)について 全国市議会議長会表彰について 2月2日(水) <ul style="list-style-type: none"> 平成23年第1回区議会定例会区長所信表明について 平成23年度組織改正について 目黒区行革計画(行動計画)改定案について 平成22年度目黒区各会計補正予算(第2号)案について 平成23年度目黒区各会計予算案について 区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担の規則改正について 費用弁償(日額旅費)等の改正の考え方について 地方議会議員年金制度見直しについての総務省の対応方針について 平成23年4月から平成24年3月までの区議会予定表(案)について 東京都後期高齢者医療広域連合議会の報告について 	<ul style="list-style-type: none"> 代表質問・一般質問の通告期限について 陳情について 予算特別委員会の設置及び正副委員長の選出について 本会議における討論通告書の提出期限について 費用弁償(日額旅費)等の改正の考え方について 議会検討事項協議会の報告について 地方議会議員年金制度の廃止に伴う財源措置に関する要望について 2月18日(金) <ul style="list-style-type: none"> 陳情について 代表質問・一般質問の順序について 平成23年度都区財政調整方針について 新公益法人移行団体に係る議会への報告体制について 2月25日(金) <ul style="list-style-type: none"> 議事日程及び進行順序について 委員会の開催予定について 意見書(案)について 陳情取り上げについて 諮問(人権擁護委員候補者の推薦)について 予算特別委員会の正副委員長の候補者について 平成22年度目黒区包括外部監査報告書について 新公益法人移行団体に係る議会への報告体制について 区議会だよりについて

平成23年度予算案に対する討論(要旨)

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。

一般会計

反対 **命と暮らしを守るため、「福祉・防災」最優先の大転換を求める**
日本共産党目黒区議団 **星見 てい子 議員**

日本共産党目黒区議団は、一般会計予算に反対する。大震災・原子力災害と経済で苦しむ区民に生活苦を押し付ける内容である。「住民福祉を守る」の原点と「災害から命を守る」という責務は一体のもの。大転換せよ。

反対理由の第1は、加入者の5割も対象になる国民健康保険料の大幅値上げを予定し、滞納家庭からは保険証を取り上げている。また滞納を理由に83歳の年金まで差し押さえるなど、命と暮らしを脅かしていること。

第2は、「財政緊急対策」として、千人の待機者がいる特養ホーム建設延期、

弾・第三弾の議論が予算委員会で始まるうとしていた矢先に、未曾有の東日本大震災が発生した。

目黒区は行政・議会が一体となり危機管理に対応し、友好都市・気仙沼市へ物資を緊急輸送し、議会の募金活動へは多くの真心が寄せられた。

自然の猛威は地域社会を破壊し尽くした。被災者は地域の絆を強め、忍耐と助け合いの精神で復興への道を歩み

反対 **目黒ショック・震災ショックを超え泣いた分だけ笑える明日に**
公明党目黒区議団 **松田 哲也 議員**

「目黒ショック」と言われる危機的財政下で、23区中2番目に高い人件費と官民格差の改善は待たなし。まず区長2割・議員3割の削減に着手すべきだ。また補助金の9割近くが人件費に消える外郭団体は直ちに廃止すべきだ。「震災ショック」で不安を抱える区民

賛成 **財政の見える化を取り入れ、財政健全化までのロードマップを。**
公明党目黒区議団 **武藤 まさひろ 議員**

東北関東大震災では、未曾有の被害をもたらしました。お亡くなりになられた多くの犠牲者の皆さまに謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されている多くの皆さまに対し、心からお見舞いを申し上げます。区は今後も被災地からの声を受け止め、より的確に支援し続けていく必要があります。又、区民への的確、且つ、迅速な情報開示に努められるよう要望致します。最重要課題である財源再建への為、かなりの部分で区民に痛みを強いる事が想定される区民に対しての説明が必要であり、財政健全化までのロードマップを示す

事が大事。このままでは区政に対する不満・不信が高まる事が危惧されます。目黒区は、誰もが住みたくない街として、見捨てられかねません。区長をはじめ職員一同は、こうした危機感を持ち、そして出来る限りの効率化を推進する事。また、福祉施策の予算削減において充分注意を図る事。歳出削減・新公会計制度・公共施設白書など全てを「見える化」する事。そして、財源創出ではネーミングライツ事業など少しでも収入確保に努めるなど、目黒区の再生に向け、必死の姿勢で取り組まれるよう強く要望します。

賛成 **全事業を見直し、協働事業の発展を議員の費用弁償は廃止すべし**
自由民主党目黒区議団 **工藤 はる代 議員**

予算に賛成する。被災地支援と地震対策の中での予算審議であったが、帰宅困難者や被災地への支援は素早い対応だった。「目黒ショック」と表現された今までの基金の考え方や補助金頼みの区政運営が行き詰った結果では。今後は財政の立て直しが重要課題だが、税

賛成 **緊急経済対策を評価、防災対策を再検討し、ごみ分別を徹底せよ**
自由民主党目黒区議団 **戸沢 二郎 議員**

平成23年度予算は、経済情勢が低迷する中、薄くなった基金を取り崩しながら緊急経済対策の予算化など区民生活の防衛、福祉、子育ての基盤整備に必要な施策を盛り込み、課題はあるが妥当なものである。東北関東大震災では、東京でも大量の帰宅難民が生じた。想

賛成 **所管を越えて区民の為に区政運営と防災対策の再構築を!**
自由民主党目黒区議団 **そうだ 次郎 議員**

東日本巨大地震によるインフラの被害額が1兆6円~25兆円と試算された。原子力発電所の事故や計画停電の影響は含まれていない。生産現場を直撃して、経済全体の被害額が膨らむのは確実である。

今こそ、日本中の地方自治体も、あらゆる英知を集結して早期の災害復興と被災された多くの方々へのケアや危機管理対策の充実にも万全を期すべきである。一般財源が過去最大規模の前年度比約100億円余の税収減、景気回復の兆しが見えない中での予算編成であった。震災後の本区への影響も計り知れない

反対 **急を要する救援物資の搬送よりパフォーマンス優先の青木区政**
無所属・目黒独歩の会 **増田 宜男 議員**

このたびの東日本大震災において本区と友好都市協定を締結している気仙沼市から緊急援助要請を受け、3月13日各方面に協力を呼びかけた。その結果、区民の皆様から提供いただいた石油ストーブや区の備蓄品の灯油、床墊及び搬送用トラック4台の手配はその日のうちに完了した。

ところがあらかじめ翌日の12時30分から12時50分に「出発式」を設定したために、出発は当然半日以上遅れることとなった。全てのものが津波によって押し流され、文字通り着のみ着のままで避難所に身を寄せている被災者に

賛成 **目黒らしい地域社会を改めて作り上げるべく一歩を踏み出した**
目黒民主会議 **鴨志田 リ工 議員**

前年と比較し、過去最大規模の100億円の減収という財政状況を踏まえ、30億円の削減を図ったが、住民税は30億円減収、子ども手当と国保で14億円の

とって、あるいは物資を提供いただいた多くの区民からすれば、誰のための「出発式」なのか? 危機に直面したときの管理体制の欠如、スピード感、相手に与える安心感、満足感、どれ一つをとっても落第点である、と指摘せざるを得ない。真に管理危機である。

23年度予算についても、来年以降の財源確保は全く示すことができず、東山小学校の改築、特養ホームの建設、校庭整備等々を先送りしただけのその場限りの予算にはとうてい賛成することはできない。

支出増と、住民福祉に対応すべく基金を取り崩しての予算編成となった。今予算は財政対策の第一弾であり、さらなる行政改革と無駄削減の第二